四　気　折　々

川越町立川越中学校
学校だより　第６号
平成 30 年 5 月 23 日

四気＝川越中校訓「やる気　ほん気　こん気　げん気」

命の大切さを学ぶ

ご講演いただく鷲見さん

１９日（土）２，３限目に鷲見三重子さん（※１）をお招きし、代表を務める「いのちの言葉プロジェクト」の取り組みに係る映像を交えて、ご講演いただきました。お忙しい中、聴講いただいた皆様にはお礼を申し上げます。今後も各種講演等のご案内をさせていただきますので、多くの皆様にお越しいただきご聴講くださいますようお願いいたします。

さて、鷲見さんは、２つの目的（※２）に触れ、本校生徒を含む聴講者にお話しいただきました。このお話しを聴いた一人一人が、鷲見さんのことばをしっかり受け止め、これからも＋（プラス）の言葉を発し、「幸せの種を蒔く」生き方を探求することができればと思います。

なお、ご講演内容について、ご家庭でお子様と語り合っていただければ幸いです。

【※１　鷲見三重子さんのプロフィール】

平成９年４月に当時１６歳の高校２年生の息子さんが、帰宅途中の横断歩道で交通事故に遭い死亡したことをきっかけに、命の尊さについて訴える全国的事業「生命のメッセージ展」を三重県内で初めて開催されました。また、平成２５年からは「いのちの言葉プロジェクト」代表として、県内の大学生と共に命の尊さを訴える活動を行ってみえます。また、三重県などの主催行事においても講演活動を行ってみえます。

【※２　命の大切さを学ぶ教室の目的】

１　「お子様を交通事故で亡くした家族の思いや家族の絆」に触れ、『自他の命の大切さ』に気づき、交通安全への意識を高める。

２　保護者、地域の方々、教職員、生徒がともに、交通安全の観点から、「命の大切さ」について考えを深める場とする。

備えあれば憂えなし！

昨日、火災を想定した避難訓練を実施しました。

いずれの生徒も真剣な態度で、安全かつ迅速に避難することができました。そのため、避難に要した時間は目標の４分を大幅に上回る３分２７秒となりました。

火災を起こさないことが一番大切なことですが、万が一の場合は、訓練のように平常心を持って、冷静に避難することを呼びかけました。３９６名の大切な命が避難場所で確実に点呼できることを願って、日々安全に学校生活を送ってください。